

# 研究業績リスト

(2015年10月1日～2016年9月30日)

## 人間基礎科学講座 (大学教育開発センター)

〔人間基礎科学講座（大学教育開発センター）〕  
教授：ハワード・N・ターノフ，薄井 明，  
花渕 馨也，森田 勲  
准教授：鎌田 禎子，櫻井 潤  
講師：井上 貴翔

### (2) 論文

- 1) 井上貴翔：「『指紋』の隔たり：古畑種基『指紋』(1926)と林熊生『指紋』(1943)」、『北海道医療大学看護福祉学部紀要』（北海道医療大学），第22号，1-11，2015. 12.

### (3) その他の論文

- 1) 井上貴翔，廣瀬純，川崎公平，中山昭彦：「討論・シネマの大義をめぐって(レスポンス・レゾナンス)（特集 <sup>シネマ</sup> 映画の大義：映像あるいは政治の特異点)」、『層 映像と表現』（北海道大学大学院文学研究科映像・表現文化論講座），第8号，12-41，2015. 12.
- 2) 薄井明：「ジンメルの影響圏におけるゴフマン社会学」、『北海道医療大学看護福祉学部紀要』（北海道医療大学），第22号，19-29，2015. 12.

### (4) 学会発表

- 1) Tsutomu SUDA, Isao MORITA, Physical fitness exerted for the cooperation among people living in cold, snowy regions, The 31st International Symposium on okhotsk sea and sea ice. 2016. 2. 21.
- 2) 井上恒志郎，山口明彦，森田勲：「一過性中強度運動による海馬新規タンパク質の合成を介した記憶固定化能力の向上」，第71回日本体力医学会大会，2016. 9. 24，盛岡.

### (5) 講演

- 1) 森田勲：石狩市筋力アップ教室（1）～（12），石狩市，2015. 11～2015. 2.
- 2) 森田勲：石狩市健康体力づくり講演会，2015. 12. 3.

## 臨床福祉学科 社会福祉学講座

教授：鈴木 幸雄，志渡 晃一，  
白石 淳，大友 芳江  
准教授：長谷川 聡，巻 康弘  
講師：福岡 麻紀  
助教：川勾亜紀奈，近藤 尚也，松本 望

### (2) 論文

- 1) 志渡晃一，米田政葉：ひきこもり及びひきこもり親和性の性・年齢階級別分布—若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）の二次分析—，北海道医療大学看護福祉学部紀要，22，13-18，2015. 12.
- 2) 米田政葉，志渡晃一：保健医療福祉系学生におけるひきこもり親和性とライフスタイル，CES-D，SOCに関する性別での検討，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，12（1），49-52，2016.
- 3) 近藤尚也：小型活動量計を用いた重症心身障害者の身体活動をとらえる試み—上肢に着目して—，北海道医療大学看護福祉学部紀要，22，39-46，2015. 12.
- 4) 近藤尚也，巻康弘，川勾亜紀奈，福岡麻紀，松本望，鈴木幸雄：相談援助実習におけるOSCE結果の活用実態—実習指導者へのアンケート調査から，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，12（1），99-103，2016. 3.
- 5) 松本望：専門職による児童，障害者，高齢者に対する虐待の領域間の比較—虐待に関する調査と法律をもとに—，北海道社会福祉研究（36），22-30，2016. 3.
- 6) 松本望：養介護施設従事等による高齢者虐待が顕在化する背景と課題：新聞記事の分析をもとに，高齢者虐待防止研究，12（1），69-77，2016. 3.

### (3) その他の論文

- 1) 白石淳：生徒との交流を活かした教職実践演習の取り組みについて，私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅱ，33-36，2015. 7.
- 2) 巻康弘，松岡是伸，嘉村藍，白川充：実習「前」評価システムの検討とOSCEの試行，日本社会福祉教

- 育学会誌, 14, 111-127, 2016. 3.
- 3) 巻康弘：相談援助実習におけるOSCE施行と施行に伴う効果, 日本社会福祉教育学会誌, 14, 129-133, 2016. 3.
  - 4) 巻康弘：卒業時到達水準をめぐる現状と今後の取り組み課題, 2015年度北海道ブロック活動報告書, 北海道ブロック社会福祉実習研究協議会, 115-123, 2016. 3.
  - 5) 松本望：虐待予防の対策・取り組みの概要（特集虐待を防ぐ）, 認知症ケア最前線, 57, 74-75, 2016. 6.
  - 6) 松本望：虐待リスクの高い職員への対応の工夫（特集虐待を防ぐ）, 認知症ケア最前線, 57, 89-91, 2016. 6.

#### （４）学会発表

- 1) 米田政葉, 志渡晃一：北海道内の高等教育機関に所属する学生のひきこもり親和性の検討. 第57回日本社会医学会学術総会, 2016. 8.
- 2) 米田政葉, 志渡晃一：保健医療福祉系学生におけるひきこもり親和性の検討. 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術総会, 2016. 9.
- 3) 木口幸子, 米田政葉, 志渡晃一：保健医療福祉系大学に所属する新入学生のDES-DとSOCの関連, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術総会, 2016. 9.
- 4) 安藤陽子, 小川克子, 米田政葉, 志渡晃一：保健医療福祉系大学の新生入学生におけるDES-Dとその関連要因, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術総会, 2016. 9.
- 5) 米田政葉, 志渡晃一：高等教育機関に所属する男子学生のひきこもり親和性と過去の学校・家庭での経験の関連の検討—保健医療福祉系学生及び工学系学生を対象として—日本社会福祉学会第64回秋季大会, 2016. 9.
- 6) 巻康弘：地域を支えるための卒前教育と卒後教育の連動～多職種連携・在宅ケアをキーワードとして～（シンポジウム）コーディネーター, 在宅ケアを支える市民・診療所全国ネットワーク第21回全国集いin北海道2015, 2015. 11, 札幌市.
- 7) 吉野夕香, 巻康弘：歯科治療を必要とする認知症高齢者をめぐる連携の現状と課題, 第59回北海道医療ソーシャルワーク学会, 2016. 5, 旭川市.
- 8) 巻康弘, 近藤尚也, 川勾亜紀奈, 福岡麻紀, 松本望, 鈴木幸雄：相談援助実習におけるOSCE（客観的臨床能力試験）の試験項目, 日本社会福祉学会第64回秋季大会, 2016. 9, 京都府.
- 9) 近藤尚也, 安井友康, 大山祐太, 奥田知靖, 山本理人：アダプテッド・スポーツに関する地方研究会の取り組み—北海道アダプテッド・スポーツ研究会活動報告から—, 第36回医療体育研究会／第19回日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第17回合同大会, 2015. 11, 神奈川（神奈川工科大学）
- 10) 近藤尚也, 安井友康：アダプテッド・スポーツの体験交流実践—北海道アダプテッド・スポーツ研究会ワークショップ—, “アダプテッド／医療／障がい者” 体育・スポーツ合同コンgresin北海道, 兼第20回日本アダプテッド体育・スポーツ学会／第37回医療体育研究会第18回合同大会, 2016. 7, 北海道（北海道教育大学岩見沢校）
- 11) 近藤尚也, 巻康弘, 川勾亜紀奈, 福岡麻紀, 松本望, 鈴木幸雄：相談援助実習指導者のOSCE結果活用実態—2015年度調査を中心に—, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会, 2016. 9, 北海道（北海道医療大学札幌サテライトキャンパス）
- 12) 松本望, 東森由香, 山口友佑, 山本拓磨, 結城拓也：認知症ケアにおける倫理的問題に関する研究動向と課題, 第17回日本認知症ケア学会大会, 兵庫, 2016. 6.
- 13) 松本望：養介護施設従事者等による高齢者虐待が与える社会的影響；新聞報道の分析をもとに. 高齢者虐待防止学会, 第13回, 神奈川, 2016. 7.

#### （５）講演

- 1) 巻康弘：卒業時到達水準をめぐる現状と今後の取り組み課題（シンポジウム）, 2015年度北海道ブロック社会福祉実習セミナー, 2015. 11, 札幌市.
- 2) 巻康弘：チームアプローチ理解に向けたソーシャルワーク教育の展開～OSCEと多職種連携論への取り組み通じて～, 日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック社会福祉士養成教育研修会, 2016. 2. 20.
- 3) 巻康弘：保健医療機関における「意思決定場面」理解, （一社）北海道医療ソーシャルワーカー協会, 2016. 8, 札幌市.
- 4) 近藤尚也：北海道社会福祉士会基礎研修Ⅱ 講師 2016. 1. 16-17
- 5) 近藤尚也：北海道社会福祉士会基礎研修Ⅲ 講師 2016. 6. 25-26
- 6) 近藤尚也：北海道社会福祉士会基礎研修Ⅰ 講師 2016. 8. 20.
- 7) 近藤尚也：北海道におけるアダプテッド・スポーツ若手選手の現状と期待（シンポジウム）座長, “アダプテッド／医療／障がい者” 体育・スポーツ合同コンgresin北海道, 2016. 7. 17.

## （６）社会活動

- 1) 白石淳：北海道福祉教育アドバイザー
- 2) 白石淳：北海道福祉のまちづくり賞審査委員会
- 3) 白石淳：北海道教育委員会，学校評議員
- 4) 白石淳：全国私立大学教職課程研究連絡協議会，理事
- 5) 白石淳：全国私立大学教職課程研究連絡協議会，機関紙編集委員
- 6) 白石淳：北海道私立大学教職課程研究運営協議会，幹事
- 7) 白石淳：地域創成学会，理事
- 8) 白石淳：北海道学校教育学会，理事
- 9) 卷康弘：在宅ケアを支える市民・診療所全国ネットワーク第21回全国の集いin北海道2015，運営委員
- 10) 卷康弘：第59回北海道医療ソーシャルワーク学会講演「貧困と無縁社会」座長，2016. 5. 21.
- 11) 卷康弘：北海道ブロック社会福祉実習研究協議会，副会長
- 12) 卷康弘：日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック研修委員会，委員長
- 13) 卷康弘：一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会，監事
- 14) 卷康弘：一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会医療福祉教育実習委員会，委員
- 15) 卷康弘：札幌市介護認定審査会，委員
- 16) 卷康弘：当別町地域福祉計画策定委員会，委員
- 17) 川勾亜紀奈：北海道医療大学福祉・介護同窓会，理事
- 18) 近藤尚也：北海道アダプテッド・スポーツ研究会，事務局長
- 19) 近藤尚也：北海道社会福祉学会，理事
- 20) 近藤尚也：北海道特別支援教育学会，理事
- 21) 近藤尚也：北海道障害者フライングディスク連盟，理事
- 22) 近藤尚也：北海道社会福祉士会生涯研修委員会，委員
- 23) 近藤尚也：当別町介護認定及び障害支援区分認定審査会，委員
- 24) 近藤尚也：北海道医療大学看護福祉学部学会，運営委員
- 25) 近藤尚也：北海道医療大学看護福祉学部学会 第13回学術大会，実行委員
- 26) 近藤尚也：日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック研修委員会，委員
- 27) 近藤尚也：“アダプテッド／医療／障がい者”体育・スポーツ合同コンgresin北海道，実行委員
- 28) 松本望：一般社団法人日本認知症ケア学会 認知症

ケア事例ジャーナル編集委員，権利擁護委員会委員，北海道地域部会委員

## 精神保健福祉講座

教授：向谷地生良

准教授：佐藤 園美

講師：奥田かおり

### （１）著 書

- 1) 田中羊子・姜尚中・向谷地生良・菅原文太他：協同労働の挑戦，55-65，萌文社，2016. 4.
- 2) 向谷地生良：永井良三総監修 精神科研修ノート第二版，115-116，診断と治療社，2016. 4.
- 3) 齊藤環，向谷地生良他：オープンダイアログとは何か，青健シリーズ27 青少年健康センター，2016. 6.

### （２）論 文

- 1) 向谷地生良：当事者同士による支援 特集「統合失調症診療の新たな展開」，Pharma Medical, 34（9），メディカルレビュー，45-48，2016. 9.

### （４）学会発表

- 1) 佐藤園美，向谷地生良，奥田かおり：精神保健福祉援助演習プログラムの開発—学生の自己理解を促す方法としての当事者研究の可能性，第5回日本精神保健福祉学会学術研究集会，沖縄，2016. 6.
- 2) Kaori Okuda, Keita Urano, Ikuyoshi Mukaiyachi：Supporting at-risk youth by using Tojisha Kenkyu, Social Work, Education and Social Development, Korea 2016. 7.

### （５）講 演

- 1) 向谷地生良：レッツ当事者研究，日本デイケア学会大阪大会，2015. 10.
- 2) 向谷地生良：当事者研究の理解と活用，日本精神障害者リハビリテーション学会 高知大会，2015. 12.
- 3) 向谷地生良：当事者研究入門，統合失調症学会 群馬大会，2016. 3.
- 4) 向谷地生良：当事者研究とは，日本発達心理学会札幌大会，2016. 4.
- 5) 奥田かおり：ストレングス視点を取り入れたソーシャルワーク実践～ピアの力を信じて～，かたるべの森 職員研修，2016. 2.
- 6) 奥田かおり，内田梓：ペアレンティング ジャーニー

～親になる旅に出る～, アクションメソッド普及協会 研修会, 2016. 5.

- 7) Kaori Okuda: Japanese Pension System, Multi-cultural Senior Community, Sapporo, 2015. 4.

#### (6) 社会的活動

- 1) 向谷地生良: 北海道地域生活支援センター権利擁護事業審査委員会, 委員
- 2) 向谷地生良: 当別町障害福祉計画策定委員会, 委員
- 3) 佐藤園美: 北海道障害者介護給付費等不服審査会, 委員
- 4) 佐藤園美: 石狩市社会福祉審議会, 委員
- 5) 佐藤園美: 札幌市社会福祉協議会福祉サービス調整委員会, 委員
- 6) 佐藤園美: 北海道精神保健福祉士養成校協会, 監事
- 7) 佐藤園美: 母子生活支援施設すずらん, 要望等解決委員

## 介護福祉学講座

教授: 志水 幸

講師: 志水 朱, 今野多美子

助教: 高橋 由紀, 池森 康裕

#### (1) 著 書

- 1) 志水幸, 志水朱, 今野多美子, 高橋由紀, 池森康裕: 医療系総合大学で介護と福祉を学ぶ. 平成27年度介護のしごと魅力アップ推進事業(北海道補助事業), 2016. 1.
- 2) 志水幸 ほか編: 福祉小六法2016年版, (株) みらい, 2016. 4.
- 3) 志水幸 ほか編: 保育福祉小六法2016年版, (株) みらい, 2016. 4.
- 4) 池森康裕 (共): 社会保障 (第4版) (第21回社会福祉制度の概要担当), 200-211, 久美出版, 2016.

#### (2) 論文

- 1) 志水幸: 保健医療福祉系大学における教養教育の問題 (6) —専門教育の危機と教養教育の意義. 一般社団法人 大学教育学会: 大学教育学会誌, 37(2), 54-58, 2015. 11.

#### (3) その他論文

- 1) 志水幸: わが国の高等教育政策における人文・社会科学等の動向. 日本社会福祉教育学会: 日本社会福祉教育学会ニュースレターNo.26, 1-3, 2015. 12. 1.

- 2) 志水幸: 今後の保健・医療・福祉の動向と社会福祉教育を展望する. 日本社会福祉教育学会: 日本社会福祉教育学会ニュースレターNo.27, 8-9, 2016. 4. 25.

#### (4) 学会発表

- 1) Koh SHIMIZU et al.: Change of Residential Social Work Practice in Nursing Homes, APASWE 23rd Regional Conference, October, Bangkok.
- 2) 志水幸: 第45回全国社会福祉教育セミナー第3分科会 (高等教育機関と社会福祉教育～大学・大学院におけるソーシャルワーク教育を中心に) コメンテーター. 2015. 10. 31, 同志社大学.
- 3) 志水幸: 日本ソーシャルワーク学会セミナー2015 (子ども・家庭・学校は, いま—スクールソーシャルワークの展望と課題) 企画者, 2015. 11. 29, 大妻女子大学.
- 4) 志水幸ほか: 大学教育学会第38回大会ラウンドテーブル (保健医療福祉系大学における教養教育の問題 (7) —いま再び, 専門職養成教育における人文・社会科学系教養教育の意義を問う—) 企画, 2016. 6. 11, 立命館大学.
- 5) 志水幸: グローバル定義を教育する. 日本ソーシャルワーク学会第33回大会学会企画シンポジウム (ソーシャルワークの『グローバル』な展開をめざして—ますます世界的に, あくまで日本的に—) シンポジスト, 2016. 7. 9, 同志社大学.
- 6) 奈良明子, 今野多美子: 副看護師長としての役割を遂行する際に直面する課題と取り組み, 日本看護管理学会学術集会, パシフィコ横浜, 2016. 8. 20.
- 7) 廣島有里, 入江一元, 池森康裕: 北海道医療大学歯学会 第34回学術大会「歯学部生からみた地域医療と生活文化の関連性～地域医療合同セミナー地域医療基礎実習に参加して～」, 2016. 3.

#### (5) 講演

- 1) 今野多美子: 倫理的視点をもった看護ケアの実践, 函館新都市病院中堅看護師研修, 2015. 12. 11.
- 2) 池森康裕: いつまでも生き生きと暮らすために—運動機能向上と重要な栄養について—, 当別町-北海道医療大学連携講座. 2015. 10. 21, 当別町白樺コミュニティセンター.

#### (6) 社会的活動

- 1) 志水幸: 一般社団法人 日本社会福祉学会 代議員
- 2) 志水幸: 日本社会福祉教育学会 理事 (会長)
- 3) 志水幸: 日本ソーシャルワーク学会 理事



- 4) 志水幸：北海道医療大学看護福祉学部学会 監事
- 5) 志水幸：北海道テレビ（イチオシ！「特集老いる ショック～ケアマネって何？」）コメント出演，2015. 12. 3. 放送
- 6) 志水幸：北海道テレビ（イチオシ！「1割負担の サービスが介護保険対象外に？」）コメント出演，2016. 2. 3. 放送
- 7) 志水幸：NHK北海道（おはよう北海道 土曜プラス 「揺れる介護福祉士養成現場」）情報取材協力，2016. 6. 11. 放送
- 8) 今野多美子：民生・児童委員（江別東地区）
- 9) 今野多美子：社会福祉法人北海道友愛福祉会，評議員
- 10) 今野多美子：社会福祉法人ゆうゆう，評議員
- 11) 今野多美子：北海道臨床倫理研究会，幹事
- 12) 池森康裕：当別町地域包括支援センター運営協議会，会長
- 13) 池森康裕：当別町地域密着型サービス運営委員会，副会長
- 14) 高橋由紀，池森康裕：第28回介護福祉士試験実技試験，実地試験委員，
- 15) 池森康裕：拓北・あいの里地区社会福祉協議会，地域ケア部委員
- 16) 池森康裕：拓北・あいの里ケア施設町内会，役員
- 17) 池森康裕：北海道医療大学福祉・介護同窓会，理事
- 18) 池森康裕：日本介護福祉学，評議員
- 19) 池森康裕：北海道公衆衛生学会，評議員
- 20) 池森康裕：北海道医療大学看護福祉学部学会，理事

## 看護学科 生命基礎科学講座

教 授：小林 正伸，西 基，浜田 淳一

### （1）著 書

- 1) 小林正伸：なるほどなっとく病理学. 南山堂，2015. 11.
- 2) 西基，高橋茂樹：助産師国試対策スキルアップブック 第2版. 海馬書房，2015. 10.
- 3) 高橋茂樹，西基：STEP公衆衛生 第13版. 海馬書房，2015. 10.
- 4) 小林士郎，上坂義和，西基，高橋茂樹：Simple Step 脳・神経. 海馬書房，2015. 10.
- 5) 平山謙二，西基，高橋茂樹：Simple Step 感染症. 海馬書房，2015. 11.
- 6) 三宅浩次，西基，志渡晃一，上原尚紘：医療・福祉施設におけるメンタルヘルスに関する調査—離職防

止の要因を探る. 平成26年度独立行政法人 労働者健康福祉機構 産業保健調査研究，2015. 11，独立行政法人労働者健康福祉機構 北海道産業保健総合支援センター.

### （2）論 文

- 1) Nakagawa K, Kohara T, Uehata Y, Miyakawa Y, Sato-Ueshima M, Okubo N, Asaka M, Takeda H, Kobayashi M. PIAS 3 enhances the transcriptional activity of HIF-1  $\alpha$  by increasing its protein stability. Biochem Biophys Res Commun. 2016; 69 : 470-6.
- 2) Onuma, K.a , Kanda, Y.a , Ikeda, S.S.b , Sakaki, R.a , Nonomura, T.a , Kobayashi, M.c , Osaki, M.ad , Shikanai, M.e , Kobayashi, H.f , Okada, F. Fermented brown rice and rice bran with *Aspergillus oryzae* (FBRA) Prevents inflammation-related carcinogenesis in mice, through inhibition of inflammatory cell infiltration. Nutrients 2015 : 7, 10237-10250.
- 3) 西基：たばこを原因とする火災の損害分析. 近代消防，2015；53（12）：80-82.
- 4) Dong P, Ihira K, Hamada J, Watari H, Yamada T, Hosaka M, Hanley SJB, Kudo M, Sakuaragi N. Reactivating p53 functions by suppressing its novel inhibitor iASPP : a potential therapeutic opportunity in p53 wild-type tumors. Oncotarget, 6 : 19968-19975, 2015.
- 5) Maishi N, Ohba Y, Akiyama K, Ohga N, Hamada J, Nagao-Kitamoto H, Alam MT, Yamamoto K, Kawamoto T, Inoue N, Taketomi A, Shindoh M, Hida Y, Hida K. Tumour endothelial cells in high metastatic tumours promote metastasis via epigenetic dysregulation of biglycan. Sci. Rep., 6 : 28039, 2016.

### （3）その他の論文

- 1) 小林正伸：がんよもやま話 がん治療のメリットをどう説明すべきか？. がん看護，20：752.
- 2) 小林正伸：がんよもやま話 がん免疫療法の夜明け？. がん看護，21：42.
- 3) 小林正伸：がんよもやま話 シスプラチンの腎毒性～老廃物を選んで排泄する腎臓の不思議な機能との関連. がん看護，21：354.
- 4) 小林正伸：がんよもやま話 大腸ガンの発症リスク. がん看護，21：443.
- 5) 小林正伸：がんよもやま話 意外に多い遺伝性がん～がんの高リスクグループ～. がん看護，21：532.
- 6) 小林正伸：がんよもやま話 がん患者として「がん」を見つめ直す. がん看護，21：618.
- 7) 斎藤翔太，太田優，手塚美智子，花井潤師，宮田淳，

長祐子, 西基: 札幌市における神経芽細胞腫スクリーニング結果 (2014年度). 札幌市衛研年報, 2015; 42: 65-66.

#### (4) 学会発表

- 1) 西基: わが国における小児脳腫瘍による死亡の推移. 第57回日本小児血液・がん学会, 2015年11月28日, 甲府市.
- 2) Maishi N, Ohba Y, Akiyama K, Ohga N, Hamada J, Nagao-Kitamoto H, Alam MT, Shindoh M, Hida Y, Hida K: Tumor endothelial cells promote metastasis via biglycan secretion. The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. October 8-10, 2015 (Nagoya).
- 3) Iizasa H, Sakata K, Maeda K, Yanagihara K, Kubo T, Yoshiyama H, Ui-Tei K, Hamada J: RNA editing enzyme ADAR 2 regulates oncomiR processing and malignancy in human pleural mesothelioma. The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. October 8-10, 2015 (Nagoya).
- 4) Xiang H, Gordanzi H, Iizasa H, Sakata K, Hida Y, Yanagihara K, Kubo T, Nakagawa K, Kobayashi M, Irimura T, Hamada J: Roles of HIF 1 and MUC 1 in motility and invasiveness of human malignant pleural mesothelioma cells enhanced under hypoxia. The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. October 8-10, 2015 (Nagoya).
- 5) 樋田泰浩, ゴウダルジ ホウマス, 飯笹久, 柳原五吉, 久保貴紀, 中川宏治, 小林正伸, 入村達郎, 加賀基知三, 浜田淳一: ヒト悪性胸膜中皮腫細胞の低酸素条件におけるMUC 1高発現を介した遊走・浸潤能の亢進 第6回Japan Mesothelioma Interest Group研究会. 2016. 11. 14 (北九州).
- 6) 項慧慧, ゴウダルジ ホウマス, 飯笹久, 坂田健一郎, 樋田泰浩, 柳原五吉, 久保貴紀, 中川宏治, 小林正伸, 入村達郎, 浜田淳一: 低酸素によって増強するヒト悪性胸膜中皮腫細胞の運動・浸潤能におけるHIF 1およびMUC 1の役割. 第1回北大部局横断シンポジウム 北大内研究ネットワーク推進プログラム「生体防御システムとその制御」. 2016. 3. 7 (札幌).
- 7) 間石奈湖, 秋山廣輔, 大賀則孝, 浜田淳一, 樋田京子: 腫瘍血管内皮細胞によるbiglycanの分泌を介したがんの転移促進. 第25回日本がん転移学会学術集会・総会. 2016. 7. 21・22 (米子).

## 実践基礎看護学講座

教授: 平 典子

准教授: 杉田 久子

講師: 明野 伸次, 福井 純子, 早出 春美

助教: 相澤 美沙, 藤本紗樹子

#### (2) 論文

- 1) 内ヶ島伸也, 杉田久子, 中安隆志, 鈴木奈緒香, 笹木弘美, 二本柳玲子, 澤田優美, 佐々木由子: 看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価(その3)—OSCEの作成と運営—, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12(1), 87-92, 2016.
- 2) 明野伸次: 日常的な看護行為に伴う手の接触が対象者にもたらす意義の検討, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12(1), 67-72, 2016. 3.
- 3) 木浪智佳子, 明野伸次, 西村歌織, 畑江郁子, 川崎ゆかり, 川合美奈: 看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価(その2), 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12(1), 79-85, 2016. 3.

#### (3) その他論文

- 1) 杉田久子: 看護過程を実施指導する上での介入と指導方法, 看護人材育成, 13(2), 35-40, 2016.

#### (4) 学会発表

- 1) 杉田久子, 唐津ふさ, 西村歌織, 福井純子: 3年目看護師の臨床看護実践の知の語り—グループインタビューの分析から—, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島市, 2015. 12.
- 2) 唐津ふさ, 西村歌織, 杉田久子: 胸腔ドレーン挿入部位を固定するためのアセスメントの視点と固定方法の実際, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島市, 2015. 12.
- 3) 新関幸子, 明野伸次, 荒関由美, 樋之津淳子: 使用済み注射針とキャップの取り扱いに関する研究 国内の書籍における横断的検討, 第14回日本看護技術学会学術集会, 松山市, 2015. 10.
- 4) 小和田淳子, 村松真澄, 樋之津淳子, 明野伸次, 加藤美恵子, 小谷俊雄, 青野由紀子, 嶋田真由美: 関節リウマチ患者の活動疾患性で比較した口腔清掃に伴う関節症状および口腔内の状態, 第30回日本臨床リウマチ学会, 神戸市, 2015. 11.

## (5) 講演

- 1) 平典子：看護過程ミドル研修「看護研究」, KKR札幌医療センター, 2016. 2.
- 2) 平典子：看護過程ミドル研修「看護理論を活用して」, KKR札幌医療センター, 2016. 7.
- 3) 平典子：「事例を研究的視点でまとめるとは」, 北海道大学病院看護部3年目研修, 札幌市, 2016. 8.
- 4) 杉田久子：「臨床で取り組む研究の基礎」, 札幌しらかば台病院院内教育研修, 2016. 5.
- 5) 杉田久子：「看護過程」, 北海道看護協会 看護過程研修会, 札幌市, 2016. 8. 18-19.
- 6) 福井純子：北海道看護協会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 看護専門職論（看護基礎教育制度と継続教育）, 札幌市, 2015. 11. 26.
- 7) 福井純子：北海道看護協会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 看護専門職論（看護専門職としてのキャリア発達）, 札幌市, 2015. 12. 3.
- 8) 福井純子：滝川市立病院・高等看護学院 臨床実習指導者・看護教員対象「看護倫理学習会」, 滝川市, 2016. 2. 29.
- 9) 福井純子：滝川市立高等看護学院 高等看護学院全学年対象 講演「看護倫理」, 滝川市, 2016. 2. 29.

## (6) 社会的活動

- 1) 平典子：日本看護研究学会 評議員
- 2) 平典子：日本看護研究学会 査読員
- 3) 平典子：日本看護科学学会 評議員
- 4) 平典子：日本がん看護学会 評議員
- 5) 平典子：日本がん看護学会 査読員
- 6) 平典子：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事長
- 7) 杉田久子：日本集中治療医学会 査読員
- 8) 杉田久子：滝川市立病院看護部看護研究研修会講師, 滝川市, 2016. 8.
- 9) 明野伸次：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事
- 10) 明野伸次：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長
- 11) 明野伸次：日本看護技術学会 選挙管理委員
- 12) 明野伸次：苫小牧市立病院看護部看護研究指導講師, 苫小牧市, 2016. 9.
- 13) 福井純子：北海道看護協会認定看護管理者教育運営委員会 運営委員
- 14) 福井純子：北海道臨床倫理研究会 幹事
- 15) 福井純子：第48回日本看護学会—看護管理—学術集会準備委員会委員
- 16) 福井純子：北海道医療大学看護福祉学部学会 運営委員
- 17) 福井純子：北海道医療大学看護福祉学部学会 第13回学術大会実行委員会 実行委員長

- 18) 藤本紗樹子：北海道医療大学看護福祉学部学会 第13回学術大会実行委員会 実行委員

## 地域保健看護学講座

### (老年看護学)

教授：山田 律子  
准教授：萩野 悦子  
講師：内ヶ島伸也  
助教：吉岡 真由

### (地域在宅看護学)

准教授：工藤 禎子, 竹生 礼子  
講師：川添恵理子  
助教：明野 聖子, 田中 裕子, 萬 美奈子

### (精神看護学)

准教授：八木こずえ, 宮地 普子  
助教：中安 隆志

### (老年看護学)

#### (1) 著 書

- 1) 山田律子：第2章 食事援助技術, 鈴木みずえ・片山はるみ（編集）「なぜ?できる!わかる!私の看護技術—卒業時の到達レベルに準拠した私の看護技術!」, クオリティケア, 26-72, 2016 (, 3).
- 2) 山田律子：第IV部1. 認知症者のアセスメントとケアの視点. 第V部1. 認知症者の生活とケアの視点. 第V部2日常生活機能のアセスメントとケア② 食事, 公益社団法人日本看護協会（編集）「認知症ケアガイドブック」, 照林社, 70-72, 116-118, 130-137, 2016 (, 6).

#### (2) 論文

- 1) 辻幸美, 山田律子, 武田純子：グループホームで終末期を迎えた認知症高齢者の食事に関する家族の満足度と影響要因, 日本認知症ケア学会誌14 (4), 2016 (, 1).
- 2) 内ヶ島伸也, 杉田久子, 中安隆志, 鈴木菜緒香, 笹木弘美, 二本柳玲子, 澤田優美, 佐々木由子：看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価（その3）—OSCEの作成と運営—, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12 (1), 87-92, 2016 (, 3).

#### (3) その他の論文

- 1) 山田律子：特集 食べる楽しみ、喜びを分かち合う



—おいしいものをよく噛んで食べることの大切さ,  
Together, 3-6, 2015 (, 9).

- 2) 山田律子：特集 高齢者の食支援, seminar 8「認知症高齢者への食支援」, Geriatric Medicine, 54 (3), 53-56, 2016 (, 1).
- 3) 山田律子：トピックス②第16回日本認知症ケア学会大会「ケアの叡知を結集し、新認知症時代を拓く」, Dementia Support, 24-25, 2016 (, 3).
- 4) 山田律子：食事—食べる喜び—, 臨床精神医学45 (5), 597-604, 2016 (, 5).
- 5) 山田律子：巻頭言 一般社団法人日本老年看護学会の設立, 老年看護学21 (1), 3-4, 2016 (, 7).
- 6) 山田律子：認知症高齢者への食支援, 月刊誌ケア34 (8), 14-20, 2016 (, 8).

#### (4) 学会発表

- 1) Chiba Y, Yamada R, Ichimura K: Critical Indicators related to dysphagia among dementia inpatients of all general hospitals, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015 (, 12).
- 2) Tsuji Y, Yamada R: Care considered good by families of elderly people with dementia living in group homes and receiving end-of-life care and care that families would like to prioritize in the future, 19th EAFONS, 千葉, 2016 (, 3).
- 3) 納谷知里, 山田律子：急性期病床における軽度認知障害高齢者の「転倒につながりうる行動」の背景にある意味, 日本老年看護学会第21回学術集会, 埼玉, 2016 (, 7).
- 4) 澤田萌, 山田律子：精神科病院から自宅や介護施設へ退院した認知症高齢者への看護, 日本老年看護学会第21回学術集会, 埼玉, 2016 (, 7).
- 5) 菅原昌子, 山田律子：積雪地域において全次型救命救急センターへ搬送された高齢者の特徴, 日本老年看護学会第21回学術集会, 埼玉, 2016 (, 7).
- 6) 中川真奈美, 山田律子：介護老人保健施設における認知症高齢者へのエンドオブライフ・ケア—多職種協働に向けて, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会, 札幌, 2016 (, 9).
- 7) 納谷知里, 山田律子：急性期病院におけるせん妄を発症した軽度認知障害高齢者の転倒につながりうる行動と転倒予防ケア—入院1週間に焦点を当てて, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会, 札幌市, 2016 (, 9).
- 8) 七戸翔吾, 山田律子：通所リハビリテーションを利用中の認知障害高齢者によるサルコペニアの実態, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会,

札幌市, 2016 (, 9).

- 9) 菊池奈々子, 山田律子：皮膚科・形成外科病棟に入院治療した高齢者における熱傷の実態—前期高齢者と後期高齢者の比較—, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会, 札幌, 2016 (, 9).
- 10) 長瀬亜岐, 山田律子：認知機能の変動とせん妄があるレビー小体型認知症の高齢者の支援—食事摂取量に着目して—, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術大会, 札幌, 2016 (, 9).
- 11) 萩野悦子, 大久保抄織, 山田律子, 野村まゆみ, 武田純子：重度認知症高齢者における日中の離床時間の変化が睡眠覚醒パターンに及ぼす影響, 神戸, 2015 (, 09).
- 12) 萩野悦子, 山下いずみ：検査や手術を受ける高齢者の出現時期による苦痛の特徴, 広島, 2015 (, 12).

#### (5) 講演

- 1) 山田律子：平成27年度現任専門職研修事業「施設の食事を考える～後編：食事場面での環境・雰囲気づくりを考える」, 札幌市, 2015 (, 10).
- 2) 山田律子：日本認知症ケア学会北海道地域部会 北海道認知症ケア研究会第4回研修会「認知症の人の摂食嚥下障害とケア（基礎編）」, 札幌市, 2015 (, 10).
- 3) 山田律子：キャリアパス支援研修「実技・演習を通して学ぶ！摂食嚥下障害のある認知症の人への支援」, 札幌市, 2015 (, 10).
- 4) 山田律子：平成27年度第2期えるのす連続講座（女性大学）「光輝高齢者を目指して“転ばぬ先の杖”」, 札幌市, 2015 (, 10).
- 5) 山田律子：第13回高齢者の医療と介護フォーラム, 特別講演「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 根室市, 2015 (, 10).
- 6) 山田律子：日本口腔看護研究会第1回岡山地区セミナー, 特別講演「認知症の人の食べる喜びを支えるために」, 岡山市, 2015 (, 11).
- 7) 山田律子：ネスレ臨床栄養セミナー in北海道「認知症高齢者の食事支援—食べる力を引き出す環境づくりと介助方法」, 旭川市, 2015 (, 11).
- 8) 山田律子：杉田玄白賞受賞記念講演「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために—脳機能を踏まえた環境づくり」, 福井県小浜市, 2015 (, 12). (2015年12月25日(金), 産経新聞14面記事掲載).
- 9) 山田律子：北海道医療大学地域包括ケアセンター開設記念講演会「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 札幌市, 2015 (, 12).
- 10) 山田律子：第5回認知症の人の食支援研究会, 教育



- 講演「最後まで認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 大分県, 2015 (, 12).
- 11) 山田律子:北海道介護関係職員医療連携支援事業「認知症高齢者のもてる力を発揮するケア」, 札幌市, 2016 (, 1).
  - 12) 山田律子:第2回北区グループホーム職員研修会「認知症高齢者の食べる喜びを支える環境づくり」, 札幌市, 2016 (, 2).
  - 13) 山田律子:日本静脈経腸栄養学会学術集会, シンポジウム(認知症の摂食障害にどのように対応するのか?)「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために—認知症の原因疾患を踏まえて」, 福岡, 2016(, 2).
  - 14) 山田律子:札幌歯科医師会口腔医療センター講演会「摂食嚥下障害がある認知症高齢者の食支援—認知症の原因疾患を踏まえて—」, 札幌市, 2016 (, 3).
  - 15) 山田律子:北海道口腔ケア研究会第15回北海道口腔ケアセミナー, 教育講演Ⅱ「認知症高齢者の食支援」, 札幌市, 2016 (, 5).
  - 16) 山田律子:北洋医療セミナー「認知症の介護」, 札幌市, 2016 (, 5).
  - 17) 山田律子:美味しく豊かな食事研究会(中空知地域)「認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 札幌市, 2016 (, 6).
  - 18) 山田律子:札幌市保健所食育講演会「いきいき食生活—認知症予防のために」, 札幌市, 2016(, 6) (2016年6月10日北海道新聞夕刊9面記事掲載「認知症予防 生活習慣改善を」).
  - 19) 山田律子:福井市介護教育「認知症高齢者の摂食困難と食支援」, 福井市, 2016 (, 7).
  - 20) 山田律子:清田看護・介護交流会研修, 特別講演「最期まで認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 札幌市, 2016 (, 7).
  - 21) 山田律子:第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, 教育講演5「認知症の方の食べる喜びを支えるケア」, 東京, 2016 (, 7).
  - 22) 山田律子:第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, シンポジウム13「認知症の方の食支援を考える:最後まで認知症高齢者の食べる喜びを支えるために」, 東京, 2016 (, 7).
  - 23) 山田律子:江別認知症カンファランス2016「認知症高齢者の食べる喜びを支えるケア—認知症の原因疾患を踏まえて」, 江別市, 2016 (, 7).
  - 24) 山田律子:北海道作業療法士会日胆支部企画講習会「認知症高齢者の摂食嚥下障害について」, 室蘭市, 2016 (, 7).
  - 25) 山田律子:長崎県上五島病院摂食嚥下研修会「しまの学校—これからの暮らしを考える—」, 上五島, 2016 (, 8).
  - 26) 山田律子:江差町「認知症の方の食べる喜びを支える環境づくり」, 江差町, 2016 (, 8).
  - 27) 山田律子:第27回日本歯科審美学会学術大会, 教育講演「食べる喜びは審美の源泉—認知症高齢者の食支援を通して考える」, 札幌市, 2016 (, 8).
  - 28) 山田律子:滝川市 認知症予防講演会「認知症の人のおいしく豊かな食事に向けて」, 滝川市, 2016 (, 9).
  - 29) 山田律子:一般社団法人日本認知症ケア学会, 第55回教育講演「認知症の人への食支援—認知症の原因疾患を踏まえて」, 札幌市, 2016 (, 9).
  - 30) 山田律子:第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, パネルディスカッション5「超高齢社会における摂食嚥下障害看護の役割「認知症高齢者の摂食嚥下機能を維持する援助」, 新潟, 2016 (, 9).
  - 31) 萩野悦子:札幌市豊平区創造学園(高齢者大学), 「よい眠りで元気な毎日をすごす」, 札幌市, 2015 (, 10).
  - 32) 内ヶ島伸也:札幌市豊平区創造学園(高齢者大学)「認知症を知ろう・考えよう」, 札幌市, 2016 (, 5).
  - 33) 内ヶ島伸也:北海道看護教員要請講習会「研究方法(全3回)」, 札幌市, 2016 (, 6).
- (6) 社会活動
- 1) 山田律子:一般社団法人日本認知症ケア学会 理事・編集委員会編集委員長・大会抄録査読・地域大会実行委員・認知症ケア専門士認定試験委員・北海道地域部会委員
  - 2) 山田律子:一般社団法人日本老年看護学会 理事(会計担当)・査読委員・学術集会座長
  - 3) 山田律子:公益社団法人日本看護科学学会 評議員(社員)・学術集会抄録査読
  - 4) 山田律子:一般社団法人日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員・査読委員・学術集会抄録査読・論文表彰選考委員, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 認定士試験問題作成委員
  - 5) 山田律子:一般社団法人日本看護研究学会 査読委員・学術集会抄録査読・座長
  - 6) 山田律子:特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
  - 7) 山田律子:一般社団法人日本老年歯科医学会査読委員
  - 8) 山田律子:北海道臨床倫理検討会 幹事

- 9) 山田律子：高齢者の終末期医療を考える会 世話人
- 10) 山田律子：専門看護師教育課程認定委員会（老人看護専門分科会）委員
- 11) 山田律子：NHK総合テレビ 北海道クローズアップ「あなたの思い出聞かせてください—患者を笑顔にする診療所」, 2016年1月22日コメンテーター.
- 12) 山田律子：北海道医療大学看護福祉学部第13回学術大会長
- 13) 萩野悦子：一般社団法人日本認知症ケア学会 代議員・認知症ケア上級専門士認定委員・認知症ケア専門士認定委員・日本認知症ケア学会誌査読委員・認知症ケア事例ジャーナル査読委員
- 14) 萩野悦子：一般社団法人日本老年看護学会 代議員・教育・研究活動推進委員・生涯学習支援委員・査読委員
- 15) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護福祉学部学会編集委員
- 16) 内ヶ島伸也：北海道医療大学看護学科同窓会副会長
- 17) 内ヶ島伸也：北海道臨床倫理研究会幹事
- 18) 内ヶ島伸也：一般社団法人日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士認定試験委員・認知症ケア学会誌査読委員, 認知症ケア事例ジャーナル査読委員
- 19) 内ヶ島伸也：平成27年度当別町地域ブランド開発推進委員会委員
- 20) 内ヶ島伸也：平成27～28年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師, 滝川市, 2015 (, 10), 2016 (, 8).

#### (地域在宅看護学)

##### (1) 著 書

- 1) 工藤禎子：地域保健法p5-7, 成年後見制度利用するひとり暮らし高齢者, p109-114, 日本在宅ケア学会編, 「在宅ケア学第2巻, 在宅ケアと諸制度」, ワールドプランニング社, 2015, 8.
- 2) 工藤禎子：家族における健康管理, p179-193 野尻雅美・中野正孝編, 「最新保健学」, 2016, 9.
- 3) スーディ 神崎和代・竹生礼子・鹿内あずさ・御厩美登里：医療事前指示書—私への医療・私の終末期はこうしてほしい, ナカニシヤ出版, 2016. (共同執筆)

##### (2) 論 文

- 1) 工藤禎子：一人暮らし高齢者の危機と危機管理, 地域ケアリング, 2016年4月号 p78-83.
- 2) 竹生礼子・本田彰子：在宅がん療養者の生活支援を住民が行うことに対する療養者と住民の期待と躊躇, 看護総合科学研究会誌, 16 (2), 17-30,

2016.

- 3) 竹生礼子・小林正伸・平典子：地域包括ケアシステムを見据えた看護教育—住みよいまちづくりを实践するための地域包括ケアセンターの活用, 看護展望, 41 (10), 31-35, 2016.

##### (3) その他論文

- 1) 川添恵理子：訪問看護ステーション未設置の自治体における在宅療養を可能にしている医療・保健・福祉の連携, 公益社団法人在宅医療助成勇美記念財団 2014年度(前期)一般公募「在宅医療研究への助成」報告書.

##### (4) 学会発表

- 1) 工藤禎子：在宅の高齢者の危機管理に関する研究の動向, 日本在宅ケア学会第21回学術集会, 2016. 7. 16, 東京.
- 2) 佐藤明子, 工藤禎子：要介護4および5の高齢者の夜間の介護内容と介護者の睡眠状況および健康感, 第21回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2016年7月15日, 東京.
- 3) 川添恵理子：「通所介護施設における看取りを視野に入れた看護の実践」第21回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2016. 7. 17.
- 4) 長江弘子, 乗鞍千枝, 川添恵理子他：日本看護学教育学会第26回学術大会・交流集会「生活と医療を統合する継続看護マネジメントモデルの基礎教育及び継続教育への適用の可能性」, 東京. 2016. 8. 23.
- 5) 田中裕子, 佐伯和子：若年性認知症の家族が精神科病院から在宅への退院を可能にした要因—1事例の考察—, 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会抄録集, P200, 東京, 2016. 1
- 6) Yuko TANAKA, Kazuko SAEKI：Decision making about psychiatric hospital discharge among family caregiver of person with early dementia, 19th East Asian Forum of Nursing Scholars Abstract Book presentation, P107, in Chiba Japan, 2016.3.

##### (5) 講 演

- 1) 工藤禎子：札幌市保健福祉部主催：中堅職員：「事業計画を立案してみよう」平成27年度, 開催日, 第1部 2016. 7. 27, 第2部 2016. 1. 22, 開催場所：札幌市保健所
- 2) 工藤禎子：生活習慣病を予防しよう, 北海道医療大学地域包括ケアセンター健康講座「はつらつコース」, 2016. 5. 16.

- 3) 工藤禎子：地域包括ケアにおける看護職の役割，看護福祉学部同窓会セミナーⅠ，2016. 5. 21，サテライトキャンパス.
  - 4) 工藤禎子：生活習慣病予防のための食と暮らし，一町民の健康づくりのための講演会一，余市町中央公民館，2016. 7. 23.
  - 5) 竹生礼子：苫小牧傾聴ボランティア・アガペーの会、ホスピスボランティア養成講習「ホスピスボランティアとは何か」講義講師. 2016. 9. 10, 苫小牧市民活動センター.
  - 6) 川添恵理子：平成27年度地域ケアサービス連携推進事業・地域在宅医療推進講座，「生活支援を支える退院調整・退院支援とは～事例を通して考えよう」講師. 中標津町総合福祉センター. 2015. 10. 3.
  - 7) 川添恵理子：NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第21回全国の集いin北海道2015. 「地域を支えるための卒前教育と卒後教育の連動～多職種連携・在宅ケアをキーワードとして」シンポジスト. 札幌コンベンションセンター. 2015. 10. 12.
  - 8) 川添恵理子：第7回札幌市中央区在宅ケア連絡会「地域包括ケアシステムの実現に向けて―医療の現場で今何が起きているか」. シンポジスト. 札幌市医師会館. 2015. 10. 14.
  - 9) 川添恵理子：第20回JA北海道厚生連看護職員病院間技術交流研修会「病院と地域の連携」，講師. JA北海道厚生連札幌厚生病院. 2015. 11. 7～11. 8.
  - 10) 川添恵理子：独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ 平成27年度退院調整看護師養成研修会「臨地実習後のフォローアップⅠ 退院調整の今後の方向性」，講師. 国立病院機構仙台医療センターメディカルトレーニングセンター. 2015. 11. 30.
  - 11) 川添恵理子：継続看護マネジメント研究会（NPO法人JAIC ジェーアイク）「生活と医療を統合する継続看護マネジメント研修会」ファシリテーター. 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス. 2016. 1. 10.
  - 12) 川添恵理子：北海道医療大学地域包括ケアセンター健康講座・つながりコース1回目「上手な病院のかかり方、入院や退院の準備」. 講師. 北海道医療大学地域包括ケアセンター. 2016. 6. 6.
  - 13) 川添恵理子：平成28年度日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第4回地方大会ワークショップ，「実践してみよう！在宅移行支援！あなたのチームは必要な人に意図的な情報収集ができるか」講師. 札幌かでの2・7. 2016. 7. 2.
  - 14) 川添恵理子：北海道医療大学地域包括ケアセンター健康講座・つながりコース2回目「つながりマップ：病気や障がいがあっても皆で声をかけあえる町になるために」. 講師. 北海道医療大学地域包括ケアセンター. 2016. 7. 14.
  - 15) 川添恵理子：北海道医療大学生涯学習事業「地域医療・訪問医療における看護師の役割」講師. 札幌サテライトキャンパス. 2016. 8. 6.
  - 16) 川添恵理子：「多職種で行う退院支援」座談会及び講演. 講師. JA北海道厚生連遠軽厚生病院. 2016. 9. 2.
  - 17) 川添恵理子：旭川医科大学医学部看護学科修士課程在宅看護学特論「在宅看護学における高度実践看護とその課題」講師. 旭川医科大学. 2016. 9. 10.
  - 18) 川添恵理子：北海道医療大学地域包括ケアセンター健康講座・つながりコース3回目「つながりマップ・自分ナビをつくってみよう：自分らしく生きるために」. 講師. 北海道医療大学地域包括ケアセンター. 2016. 9. 30.
- (6) 社会的活動
- 1) 工藤禎子：当別町健康づくりプラン委員会 委員
  - 2) 工藤禎子：学会の委員
    - (1) 一般社団法人日本地域看護学会代議員
    - (2) 一般社団法人日本地域看護学会編集委員
    - (3) 日本老年社会学会評議員
    - (4) 一般社団法人日本在宅ケア学会 査読委員
    - (5) 一般社団法人日本看護科学学会 査読委員
    - (6) 一般社団法人日本老年看護学会 査読委員
    - (7) 一般社団法人日本公衆衛生学会 査読委員
    - (8) 一般社団法人日本公衆衛生看護学会 査読委員
    - (9) 一般社団法人日本認知症ケア学会 査読委員
    - (10) 千葉看護学会 査読委員
    - (11) 北海道公衆衛生学会 編集委員
  - 3) 工藤禎子：日本看護協会 予備代議員
  - 4) 工藤禎子：北海道看護協会第4支部保健師職能委員
  - 5) 竹生礼子：「事前指示書を書く会」市民向けワークショップファシリテーター. 札幌市立大学，北海道ホームヘルスケア研究会共催. 2016. 3. 12. 札幌市南区民センター.
  - 6) 竹生礼子：「事前指示書を書く会」市民向けワークショップファシリテーター. 札幌市立大学，北海道ホームヘルスケア研究会共催. 2016. 7. 30. 札幌市立大学サテライトキャンパス.
  - 7) 竹生礼子：北海道社会福祉施設整備選定に関する有識者会議 委員
  - 8) 竹生礼子：日本看護倫理学会 評議員
  - 9) 竹生礼子：第40回日本死の臨床研究会年次大会 実



行委員

- 10) 竹生礼子：第21回日本難病看護学会学術集会 実行委員
- 11) 竹生礼子：第21回日本難病看護学会学術集会 口演発表座長
- 12) 竹生礼子：第2回在宅ホスピスボランティア養成講習会，運営・講師，2016. 10. 31, 11. 14, 札幌.
- 13) 川添恵理子：日本CNS看護学会誌専任査読者
- 14) 川添恵理子：日本在宅ケア学会，第22回学術集会企画委員
- 15) 川添恵理子：第21回日本難病看護学会学術集会 実行委員
- 16) 川添恵理子：特定非営利活動法人Japan Academy of Integrated Care 理事
- 17) 川添恵理子：医療・介護・福祉の連携に関するヒヤリング，北海道保健福祉部地域医療推進局，2016. 4. 13.
- 18) 川添恵理子：平成29年度教育研修会企画に関する意見聴取会，2016. 9. 2.
- 19) 川添恵理子：明日の在宅療養を考える会 世話人
- 20) 川添恵理子：北海道地域連携看護研究会 世話人

#### (精神看護学)

#### (2) 論文

- 1) 内ヶ島伸也，杉田久子，中安隆志，鈴木菜緒香，笹木弘美，二本柳玲子，澤田優美，佐々木由子：看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価（その3）—OSCEの作成と運営—，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，12（1），87-92，2016（，3）.

#### (3) その他論文

- 1) 宮地普子：中等度から高度に移行する認知症高齢者の生活世界に対する看護ケアの検討，平成25～27年度科学研究費若手研究（B）研究成果報告書，2016. 6.

#### (4) 学会発表

- 1) 山下いずみ，鹿内あずさ，竹生礼子，中田真依，中安隆志，神田直樹：老人看護専門看護師の訪問看護師に対する学習会の効果，第54回全国自治体病院学会，函館，2015. 10.
- 2) 鹿内あずさ，山下いずみ，中安隆志，神田直樹，中田真依，竹生礼子：多領域の専門看護師との連携を活かした訪問看護師に対する学習会の効果，第3回日本CNS看護学会，東京，2016. 6.

#### (5) 講演

- 1) 八木こずえ：ナースのためのコミュニケーション研修，札幌医科大学看護部研修，2015. 11.
- 2) 八木こずえ：看護部リーダー研修，札幌医科大学看護部研修，2016. 6.
- 3) 中安隆志：「プリセプター研修」，五稜会病院院内研修会講師，札幌，2015. 10.

#### (6) 社会的活動

- 1) 八木こずえ：日本精神保健看護学会 代議員，学会発表抄録査読委員
- 2) 宮地普子：北海道看護協会，学会委員.
- 3) 中安隆志：日本精神科看護技術協会北海道支部看護研究発表会 講評，札幌，2015. 10.
- 4) 中安隆志：北海道看護協会精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 ファシリテーター，札幌，2016. 9.
- 5) 中安隆志：NPO法人こころ 理事

## 母子看護学講座

教授：三国久美

講師：遠藤紀美恵，木浪智佳子，加藤 依子

助教：川崎ゆかり，渋谷 雅美，畑江 郁子，嶋田あゆみ

#### (2) 論文

- 1) 佐々木栄子，木浪智佳子：看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価（その1）—新設科目「看護実践演習」・OSCEの位置づけとプロジェクト委員会活動—，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，12（1），73-77，2016. 3.
- 2) 木浪智佳子，明野伸次，西村歌織，畑江郁子，川崎ゆかり，川合美奈：看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価（その2）—演習の運営—，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，12（1），79-85，2016. 3.
- 3) 畑江郁子，木浪智佳子，三国久美，丸岡里香，川合美奈，澤田優美：高等学校に勤務する養護教諭と一般教諭の小児がんに関する認識とがん体験者との関わり，小児保健研究，75（4），504-510，2016. 7.
- 4) 寅嶋静香，遠藤紀美恵，澤田優美：産後2～9か月にある女性の身体的健康状態における実態調査 第一報～高齢出産群と他年齢出産群との比較から～，母性衛生，57（2），297-304，2016. 7.
- 5) 渋谷雅美，竹生礼子，齊藤美沙，伊藤道子，明野聖子：看護学科における模擬患者参加型授業とOSCE

の実施・評価（その4）—模擬患者の育成と授業への参加—, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12 (1), 93-98, 2016. 3.

- 6) 嶋田あゆみ: NICUにおける直接授乳に関する文献検討, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 12 (1), 61-66, 2016. 3.

### (3) その他の論文

- 1) 加藤依子: 『ハローキティの早引き 子どもの看護と薬・検査・処置』, ナツメ出版, 2016. 5.  
2) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: メンタルヘルスの向上を導く手法介入による産後女性への健康増進支援活動の一提案～事例報告を基に～, 北海道母性衛生学会誌, 45 (1), 17-20, 2016. 8.

### (4) 学会発表

- 1) 三国久美, 澤田優美, 草薙美穂, 齋藤早香枝: 小児科外来における育児相談の実施と評価, 第63回日本小児保健協会学術集会, 2016. 6.  
2) 加藤依子, 三国久美, 畑江郁子, 木浪智佳子: 食物アレルギーの幼児が安全な食生活を送るための母親の行動, 日本小児看護学会第26回学術集会, 2016. 7.  
3) 佐藤辰也, 木浪智佳子: 医療型療養病床の職員の仕事に対するモチベーションと看護師長に期待する役割, 北海道医療大学看護福祉学部学会第13回学術集会, 2016. 9.  
4) 中山美幸, 木浪智佳子: 重症心身障害児(者)施設の職員における与薬に関する危険予知トレーニングの効果, 第42回日本重症心身障害学会学術集会, 2016. 9.  
5) 大場美穂子, 木浪智佳子: 重症心身障害児(者)施設の職員における勤務継続の意志とその関連要因, 第42回日本重症心身障害学会学術集会, 2016. 9.  
6) 長谷川真理, 木浪智佳子: 重症心身障害児(者)病棟におけるスピーチロックに対する看護職・福祉職の現状, 第42回日本重症心身障害学会学術集会, 2016. 9.  
7) 高石紗樹, 佐瀬美恵子, 宮崎弘美, 多田和代, 遠藤紀美恵: 里帰り分娩における産後1ヵ月間の母親と祖母の産後支援内容の相違について, 第54回全国自治体病院学会, 2015. 10.  
8) 寅嶋静香, 遠藤紀美恵, 澤田優美: 高齢出産女性に対する産後ヘルスプロモーション活動は心身の健康状態を良好に導くか, 日本母性衛生学会学術集会, 2015. 10.

### (5) 講演

- 1) 加藤依子: 子ども・家族中心のプレパレーション 子どもの権利の尊重とケアモデルを活用した日々の看護の振り返り, 北海道看護協会, 2015. 12.

### (6) 社会的活動

- 1) 三国久美: 日本看護科学学会, 代議員  
2) 三国久美: 日本看護研究学会, 評議員・査読委員  
3) 三国久美: 乳幼児保健学会, 理事  
4) 三国久美: 日本看護研究学会, 北海道地方会, 役員  
5) 三国久美: 北海道公衆衛生学会評議員・査読委員  
6) 三国久美: 平成27年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師  
7) 三国久美: 平成27年度JCHO北海道病院「看護研究」講師  
8) 三国久美: 「当別町パーソナルアシスタント養成講座」講師, 2015. 10.  
9) 木浪智佳子: 平成27年度北海道済生会西小樽病院・みどりの里「看護管理者研修」講師  
10) 加藤依子: 北海道千歳高等学校「第一学年進路オリエンテーション」講師, 2015. 10.  
11) 加藤依子: 当別町ファミリー・サポート・システムスキルアップ講座, 小児看護の基礎知識, 2016. 3.  
12) 遠藤紀美恵: 北海道岩内高等学校「進路体験学習」講師, 2015. 11.  
13) 遠藤紀美恵: 北海道岩見沢西高等学校「大学と職業を考える講話」講師, 2016. 9.  
14) 遠藤紀美恵: 「産後のお母さんのための健康講座」運営スタッフ, 2016. 9.  
15) 嶋田あゆみ: 日本ラクテーション・コンサルタント協会北海道エリア「北海道母乳育児学習会」実行委員

## 成人看護学講座

教授: 野川 道子, 佐々木栄子

講師: 唐津 ふさ, 西村 歌織, 神田 直樹

助教: 高木 由希, 伊藤加奈子, 佐土根 岳, 鈴木菜緒香

### (1) 著書

- 1) 佐々木栄子: 成人看護技術, 慢性看護, 4脳神経機能障害のある患者への支援技術, 2パーキンソン病の病態と症状・治療・セルフマネジメント, 看護技術の実際, 128-141, 149-153, メヂカルフレンド社, 2015.

## (2) 論文

- 1) 神田直樹, 門間正子, 中井夏子, 皆川ゆり子, 田口裕紀子, 城丸瑞恵: クリティカルケア領域に勤務する看護師の認定看護師、専門看護師、修士・博士号取得に対する認識—勤務する施設の所在地域による比較, 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 22号, 31-38, 2015 (, 12).
- 2) 城丸瑞恵, 牧野夏子, 門間正子, 田口裕紀子, 春名純平, 皆川ゆり子, 内田裕美, 神田直樹: 北海道の道北地方において救急医療に携わる看護師が抱える困難の現状と課題—アクションリサーチによる支援モデルの構築, 北海道開発協会開発調査総合研究所平成27年度助成研究論文集, 47-58, 2016 (, 6).

## (3) その他論文

- 1) 野川道子, 本庄恵子, 東めぐみ, 長谷佳子, 柏崎純子, 鶴澤久美子: 慢性看護のコア・コンセプトⅠ, 慢性看護に共通する核となる内容, 一学問領域からみた検討—, 日本慢性看護学会誌, 特別号, 22-30, 2016 (, 6).
- 2) 東めぐみ, 長谷佳子, 柏崎純子, 鶴澤久美子, 本庄恵子, 野川道子: 慢性看護のコア・コンセプトⅡ, 一慢性看護領域における高度な実践の検討—, 日本慢性看護学会誌, 特別号, 31-51, 2016 (, 6).
- 3) 本庄恵子, 野川道子: 学会集の抄録集および記録からみた慢性看護, 一講演, シンポジウムからみた慢性看護の特徴, 日本慢性看護学会誌, 特別号, 52-56, 2016 (, 6).
- 4) 佐々木栄子, 木浪智佳子: 看護学科における模擬患者参加型授業とOSCEの実施・評価(その1)—新設科目「看護実践演習」・OSCEの位置づけとプロジェクト委員会活動—, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌 第12巻1号, 73-77, 2016.
- 5) 佐々木栄子: 特集 第9下位日本慢性看護学会学会集記録2「慢性疾患をもつ人の生活を支える技の開発」(シンポジウムより), 縮み揺れ動く自己概念を持つパーキンソン病療養者の生活を支える技—サポートプログラム実践を通して考える—, 日本慢性看護学会誌, 第10巻第1号, 27-29, 2016.
- 6) 神田直樹: エキスパートが教える 臨床判断が求められる看護師国家試験問題 終末期の代理意思決定, ナーシングキャンパス, 4 (6), 81-85, 2016 (, 5).
- 7) 神田直樹: ココが知っていた 急変対応Q&A 「DNAR」に関するギモン, エキスパートナース, 32 (10), 132-133, 2016 (, 7).

## (4) 学会発表

- 1) 野川道子, 長谷佳子, 西光代, 戸畑利香, 江口恵子: 乳がん手術後の患者が知覚する病気の不確かさの特徴, 第30回日本がん看護学術集会, 千葉, 2016 (, 2).
- 2) 唐津ふさ, 西村歌織, 杉田久子: 胸腔ドレーン挿入部位を固定するためのアセスメントの視点と固定方法の実際, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015. 12.
- 3) 杉田久子, 唐津ふさ, 西村歌織, 福井純子: 3年目看護師の臨床看護実践の知の語り グループインタビューの分析から, 第35回日本看護科学学会学術集会, 広島, 2015. 12.
- 4) 杉田久子, 唐津ふさ, 西村歌織, 福井純子: 「臨床看護実践を語る会」における参加者評価と今後の課題, 第13回北海道医療大学看護福祉学部学会学術大会, 札幌, 2016. 9.
- 5) 加藤瞳, 島田文, 石岡道子, 長谷川幸恵, 唐津ふさ: A病院におけるドレーン・チューブのテープ固定での観察の視点と固定の実際, 第18回日本褥瘡学会学術集会, 横浜, 2016. 9.
- 6) Nami Sakuraba, Kaori Nishimura, Noriko Hira: Internet use by cancer patients in Japan for medical information, Annual Meeting of Multinational Association of Supportive Care in Cancer (MASCC), 2015.
- 7) Kaori Nishimura, Nami Sakuraba, Noriko Hira: Online Information Gathering and Networking by Japanese Cancer Patients, AONS (Asian Oncology Nursing Society) 2015 Conference, 2015. 11.
- 8) 山下いずみ, 鹿内あずさ, 竹生礼子, 中田真依, 中安隆志, 神田直樹, 老人看護専門看護師の訪問看護師に対する学習会の効果, 第54回全国自治体病院学会, 2015. 10.
- 9) 雀地洋平, 石川幸司, 木村禎, 岡村英明, 梅木恵, 神田直樹, 北海道循環器看護研究会の活動概要と課題の検討, 第12回日本循環器看護学会学術集会, 2015. 10.
- 10) 神田直樹, 牧野夏子, 葛西陽子, 皆川ゆり子, 石川幸司, 伊波久美子, 専門看護師と認定看護師の効果的な協働関係構築のための方略の検討, 第39回北海道救急医学会学術集会, 2015. 11.
- 11) Junpei Haruna, Mizue Shiromaru, Yuriko Minagawa, Hiromi Uchida, Natsuko Makino, Masako Momma, Naoki Kanda, Yukiko Taguchi, Hiromi Orita, Kunie Tsugawa, Difficulties Experienced by Nurses Engaged in Emergency Care in the Provinces of Hokkaido, 19th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2016. 3.
- 12) 春名純平, 牧野夏子, 城丸瑞恵, 内田裕美, 田口裕



紀子, 皆川ゆり子, 神田直樹, 津川久仁江, 折田博美, 門間正子, 地方の中核病院において救急医療に携わる看護師が抱える困難—施設の救急看護師へのインタビューから, 第12回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2016. 6.

- 13) 皆川ゆり子, 城丸瑞恵, 春名純平, 内田裕美, 田口裕紀子, 牧野夏子, 神田直樹, 折田博美, 津川久仁江, 門間正子, 地方の中核病院において救急看護師が考える救急医療の現状—施設の救急看護師へのインタビューから, 第12回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2016. 6.
- 14) 城丸瑞恵, 田口裕紀子, 牧野夏子, 春名純平, 内田裕美, 門間正子, 神田直樹, 皆川ゆり子, 折田博美, 津川久仁江, 交流集会7 地方病院の救急看護師が抱える困難と支援方法: 病院・研究機関に所属する看護師と研究者の協働的取り組み例, 第12回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2016. 6.
- 15) 鹿内あずさ, 山下いずみ, 中安隆志, 神田直樹, 中田真依, 竹生礼子, 多領域の専門看護師との連携を活かした訪問看護師に対するコンサルテーションの効果, 第3回日本CNS学会学術集会, 2016. 6.
- 16) 内田裕美, 牧野夏子, 門間正子, 神田直樹, 城丸瑞恵, 看護学生のキャリア開発を目指した取り組みの効果—認定・専門看護師の資格取得に関するセミナーを通して, 第26回日本看護学教育学会学術集会, 2016. 8.

#### (5) 講演

- 1) 野川道子: シンポジウム・高度実践看護の進化と広がり〜裁量・創造・継続〜, プライマリ・ケアの高度実践看護師 (APN) の活動, —CNS・NP教育課程 (特定行為研修を含む) 修了生の現状から—, 第3回日本CNS看護学会, 東京, 2016 (, 6)
- 2) 佐々木栄子: 難病療養者のセルフマネジメント支援—病と生きるパーキンソン病療養者からの示唆—, 第21回日本難病看護学会学術集会 会長講演, 2016. 8. 26.
- 3) 神田直樹: 第21回日本難病看護学会学術集会 シンポジウム「臨床における意思決定支援の実際と課題」, 2016. 8.
- 4) 神田直樹: 専門看護師から学ぶ訪問看護のワザ「訪問看護師が行う電話トリアージ」, 北海道医療大学地域包括ケアセンタースキルアップ研修, 2016. 9.

#### (6) 社会的活動

- 1) 野川道子: 日本慢性看護学会 理事
- 2) 野川道子: 日本NP教育大学院協議会 理事

- 3) 野川道子: 日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会委員 プライマリケア看護専門分科会 委員長
- 4) 野川道子: 日本看護協会 専門看護師制度委員会 委員長
- 5) 野川道子: 日本CNS看護学会誌専任査読者
- 6) 野川道子, 唐津ふさ, 西村歌織, 高木由希, 伊藤加奈子, 佐土根岳, 鈴木菜緒香: 第21回日本難病看護学会学術集会 企画委員
- 7) 佐々木栄子: 日本難病看護学会 理事
- 8) 佐々木栄子: 日本慢性看護学会 評議員
- 9) 佐々木栄子: 北祐会神経内科病院「看護研究」指導
- 10) 佐々木栄子: 第21回日本難病看護学会学術集会 大会長, 2016. 8. 26. 27.
- 11) 唐津ふさ: 日本慢性看護学会 評議員
- 12) 唐津ふさ: 手稲溪仁会病院 看護部研修「事例研究」講師, 2016. 9.
- 13) 唐津ふさ: 手稲溪仁会病院 看護部研修「文献クリティーク」講師, 2016. 9.
- 14) 西村歌織: NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営
- 15) 西村歌織: 北海道に暮らすがん経験者・家族のためのwebサイト「キャンサーテラス」運営団体Cansur Linkaid 代表
- 16) 神田直樹: 日本クリティカルケア看護学会, 評議員
- 17) 神田直樹: 日本クリティカルケア看護学会, 査読員
- 18) 神田直樹: 第12回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 座長
- 19) 神田直樹: 日本集中治療医学会, 北海道支部運営委員
- 20) 神田直樹: 日本集中治療医学会, 集中治療看護師検討委員会 委員
- 21) 神田直樹: 北海道集中治療医学会看護部会, 役員
- 22) 神田直樹: 北海道循環器看護研究会, 役員
- 23) 神田直樹: 北海道専門看護師の会, 会長
- 24) 神田直樹: 平成28年度北海道看護研究学会, 研究指導
- 25) 神田直樹: 岩見沢市立病院 新入職者研修「看護倫理」, 講師, 2016. 4.
- 26) 神田直樹: 札幌医科大学附属病院看護部「看護研究研修」, 講師および助言, 2016. 5.
- 27) 神田直樹: 第21回日本難病看護学会学術集会 実行委員長, 2016. 8. 26. 27.
- 28) 高木由希: H28年度 国立病院機構北海道医療センター看護研究支援, 札幌市

- 29) 高木由希：H28年度 国立病院機構北海道医療センター「看護研究方法」講師，2016. 6. 札幌市

## 臨床看護学講座

教授：塚本 容子  
講師：高橋 久江，石角 鈴華  
助教：櫻庭 奈美

### (1) 著 書

- 1) 塚本容子：(編著) ナースが症状をマネジメントする！症状別アセスメント. メジカルフレンド社，2016.
- 2) 塚本容子：ナースが症状をマネジメントする！症状別アセスメント，15腹痛. メジカルフレンド社，2016, p245-260.
- 3) 塚本容子：(編集協力) 日本プライマリ・ケア連合学会：プライマリ・ケア看護学. 南山堂，2016.
- 4) 塚本容子：日本プライマリ・ケア連合学会：プライマリ・ケア看護学，Ⅲ. 疾病予防と疾病管理—臨床推論. 南山堂，2016, p146-153.
- 5) 塚本容子：日本プライマリ・ケア連合学会—プライマリ・ケア看護学，Ⅲ. 疾病予防と疾病管理：3. トリアージ. 南山堂，2016, p154-162.

### (2) 論 文

#### (3) その他の論文

- 1) 塚本容子：北海道医療大学大学院における特定行為にかかわる教育について 本学の目指す高度実践看護師と特定行為研修. Best Nurse, 27 (5), 54-55, 2016
- 2) Yoko Tsukamoto, Yasuko Hiraoka, Fumiko Kimoto : A Report of 10-year History : Educational Program for Medically Underserved Area in Japan by Infection Preventionists, American Journal of Infection Control, Vol. 44( 6 ), S65

### (4) 学会発表

- 1) 塚本容子：慢性期医療・看護における感染対策—急性

性期における感染対策からのパラダイムシフト，第31回日本環境感染学会総会・学術集会，スイーツセミナー，京都，2016, (, 2).

- 2) 塚本容子：高度実践看護師に求められる医療の質保証. 第47回日本看護学会—看護教育—学術集会，シンポジスト，大津，2016 (, 8).

### (5) 講 演

- 1) 塚本容子：感染症・感染対策に関する最新トピックス：米国ナースプラクティショナーの実践から，第2回感染管理認定看護師フォローアップ研修，山口県立大学看護研修センター，山口，2015 (, 10).
- 2) 塚本容子：北海道看護協会研修会，本学における看護師の特定行為研修，札幌，2016 (, 3).
- 3) 塚本容子：北海道医療大学大学院における特定行為に係る教育について，—本看護協会—特定行為に係る看護師の研修制度の活用研修会，東京，2016(, 3).
- 4) 塚本容子：感染症を持つ患者アセスメントのための臨床推論，第10回旭川感染管理ネットワーク，2016 (, 4).
- 5) 塚本容子：医療におけるNPのアウトカムと展望，東北NP研究会，仙台，2016 (, 5).
- 6) 塚本容子：患者安全は医療関連感染予防から，自治医大病院感染対策講演会，小山，2016 (, 6).
- 7) 塚本容子：医療施設の管理者からスタッフまで知っておきたい感染対策の知識，大川原神経外科病院第1回看護研修，東室蘭，2016 (, 7).
- 8) Yoko Tsukamoto : Gender Inequality in Health Care, Global Nursing Leadership Institute, WHO Geneva, 2016 (, September)

### (6) 社会活動

- 1) Yoko Tsukamoto : The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
- 2) 塚本容子：環境感染学会，国際委員会，委員長
- 3) 塚本容子：看護師の為の臨床薬理学研究会 in 北海道，代表
- 4) 石角鈴華：石川県立看護大学 感染管理認定看護師教育課程 非常勤講師.